

中学校数学 第1・2学年

各学年共通した課題		文字を用いて式に表現したり、式の意味を読み取ったりすること 文字を用いた式の計算や目的に応じた式の変形をすること	
学年	設問	設問のねらいと問題の概要	正答率(%)
1	大問2(3) ⑧	○ 式の値を求めることについての知識及び技能	44.4
2	大問2(3) ⑦	○ 等式の性質などを用いて目的に合うように等式を変形することについての知識及び技能	43.4
課題が見られた設問と誤答例 (第1学年)			
<p>[問題]</p> <p>等式 $2x - 4y = 3$ を y について解きなさい。</p>		<p>[正答例]</p> $y = \frac{2x - 3}{4} \quad \left(y = \frac{1}{2}x - \frac{3}{4} \right)$	
— 復習のポイント — 中学校第1・2学年の皆さんへ			
<p>○ 第1学年では、文字に値を代入すること、その後、計算して式の値を求めることを確実にできるようにすることが大切です。負の数を代入するときには、()をつけるといった点に気を付けて、式を丁寧に書く習慣を付けましょう。また、正しい式の値を求められるように、四則計算の技能を定着させましょう。</p> <p style="padding-left: 20px;">式の値を求めることは、方程式の解が正しいことを確かめたり、関数の式をもとにして表をつくったりするときに必要な技能です。多くの学習場面でいつでも使える技能となるようにしましょう。</p> <p>○ 第2学年では、等式の性質などを使って、目的に合うように等式を変形できるようにすることが大切です。目的に合う等式に変形する過程の式を丁寧に書くとともに、そのときに等式の性質などを基にしてどのような計算をしているのか説明できるようにするとよいです。</p> <p style="padding-left: 20px;">目的に合うように等式を変形することは、例えば、2元1次方程式のグラフが直線である理由を説明するときに必要な技能になります。また、第3学年における2次方程式の解き方や、解の公式の導き方を考える学習につながります。教科書などの問題を再度見直し、確実にできるようにしましょう。</p> <p>○ 数学では、一つ一つの学習がつながっているので、正答できなかった原因を探り、関連する単元の内容について学び直しをする機会をもつようにしましょう。また、定着のためには、教科書の章末問題や、巻末の補充問題を活用して定期的に復習することも大切です。上記では取り上げていませんが、正の数と負の数の四則計算、1次方程式の解き方、連立方程式の解き方なども本県の課題となっています。基本的な計算技能を磨けるよう、意識して定着の状況を確認する機会を設けましょう。</p>			